

北の庄沢・兄弟社村 夢の兄弟社村で自然体験！！

私立 近江兄弟社小学校

TEL:0748-31-2122 FAX:0748-31-2123

〒523-0818 滋賀県近江八幡市浅小井町 699

夢の兄弟社村、ここでしかできない自然体験！

1, 学校の概要

近江兄弟社小学校は近江八幡市の旧市街の市井キャンパスから昨年度より自然いっぱいの浅小井キャンパスに移転した。琵琶湖の大自然、西の湖の中自然、近くには蛇砂川の小自然と、自然豊かな環境がすぐ近くにある。本校は小規模な学校ではあるがこども園から高校までを擁するキリスト教主義に立つヴォーリズ学園の小学校である。



(兄弟社村・風車)

2, 本校の環境教育

本校が滋賀県の「エコスクール活動」に参加して14年になる。環境体験活動の主な拠点は本校から北方向にある北之庄にある兄弟社村である。子どもたちが名付けた「兄弟社村」にはみんなの学習室(ひみつ基地)、陶芸ができる穴窯、米や野菜を育てるあめんぼ田んぼや畑、琵琶湖の生態系とつながっているビオトープなどが整備されている。近くの北之庄沢ではカヌー体験をすることもできる。

本校の大切な教育方針の一つが「人間教育」としての「体験学習」である。心と身体のバランスのとれた成長を願って、日々教育に取り組んでいる。自然界のあらゆる生き物を大切にし、命の尊さの分かる子ども、隣人を思いやる優しい心を育成したい。移転して2年の浅小井キャンパスそして、兄弟社村をフィールドにしてダイナミックで創造性に富んだ教育を目指している。

ビオトープでは9月に、ヴォーリズ学園ビオトープ委員会主催でビオトープの生態調査を実施した。今年も多くの子供、保護者をはじめ、兄弟社中学校の自然科学部の生徒たちが参加した。環境NPOの「碧いびわ湖」も参加してくれて、子どもたちに生き物や環境について教えてくれた。生き物調査の結果としては、カエル・オタマジャクシ・メダカが多く見られました。今後も、北の庄沢の自然の素晴らしさを子どもたちの力で守り、動物や植物などが集まる素晴らしい兄弟社村を維持できるように、体験学習活動を進めていく。



3、各学年の主な取り組み

○1年生

- ・安土への遠足で西の湖の自然を体験。
- ・5年生と一緒に兄弟社村での田植え、稲刈り、脱穀を通した米作り学習。兄弟社村祭りで販売した。お米を被災地にメッセージと共に送付。

○2年生

- ・JAと6年生とサツマイモの栽培・収穫し、兄弟社村祭りでフライドポテトとして販売。
- ・浅小井校地の畑でダイコンを栽培し、3年生とともにおつゆを作り販売。

○3年生

- ・兄弟社村でサツマイモの栽培、兄弟社村祭りで2年生と「おつゆ屋さん」でサツマイモとダイコンの「おつゆ」を販売。

○4年生

- ・兄弟社村で落花生を栽培し、収穫した落花生を塩茹でして兄弟社村祭りで販売。

○5年生

- ・兄弟社村でヨモギを採集、ヨモギ茶を作って兄弟社村祭りで販売。
- ・兄弟社村『アメンボ田んぼ』でのお米作り。1年生と共に田植えから収穫まで行う。また、村祭りで収穫したお米を販売。お米と共にメッセージを集め被災地に送付。

○6年生

- ・「仲間と一緒に琵琶湖の自然を体験しよう」琵琶湖一周サイクリング。サイクリングで琵琶湖の風を感じながら、そこで暮らす多様な生物のこと、人々のくらしの様子などを学ぶ。

〔全校で行う活動〕

①兄弟社村にケヤキの木を植樹

兄弟社村のクローバー広場にケヤキの木の苗木を6本植樹した。昨年退職された田中先生が残してくれた苗木であった。全校たてわりシンフォニーでそれぞれ一本ずつ植樹した。

②兄弟社村クリーン大作戦

今年も恒例の、兄弟社村のクリーン作戦を行った。今年も周辺のゴミは多く、ビン・缶・ビニール袋など沢山のゴミを拾うことができた。1時間くらいの活動で、たくさんのゴミ袋にゴミが集まった。今後もきれいな自然景観を保つ兄弟社村にしていきたい。

③兄弟社村祭り

兄弟社村ができてから、今年で14年目。今年度も収穫感謝祭として「兄弟社村祭り」を行った。各学年、兄弟社村で栽培収穫したものや加工した物などを販売した。また、環境委員会ではクイズラリーコーナーやゲームコーナーなども行った。保護者や地域の方のお店も多数出店、たくさんの人との交流をする機会にもなった。心に残る兄弟社村祭りが進められた。



④全校で取り組む牛乳パック回収

各クラスで飲んでいる西牛乳の牛乳パックをハサミで切り、水で洗い乾かして環境委員会が回収している。牛乳パックをきれいにまとめ「碧いびわ湖」に気持ちよく引き取ってもらい「ただいまロール（トイレトペーパー）」を購入し、資源の循環を実感できるようにしている。

4、成果と今後

エコスクールをスタートして今年度で14年目を迎え、子どもたちの環境に対しての意識が変わってきた。「蛇砂川や北ノ庄沢をきれいにするためにはどうしたらよいだろうか。」「生き物たちと仲良く暮らせるところとはどんなところかな。」など兄弟社村の変化とともに子どもたちの姿・考え方が変わってきた。また、子どもたちの活動に保護者や地域の専門家なども協力してもらえるようになってきた。今後も、「兄弟社村」の変化とともに自然環境を大切にできる子どもたちに育つよう教育活動を行っていく。